

CACC 及び LKA を用いたトラック隊列走行の後続車有人システム実証実験

車両システム説明

■CACC システム（協調型車間距離維持支援システム）

通信で先行車の制御情報を受信し、加減速を自動で行い、車間距離を一定に保つ機能

■LKA システム（車線維持支援システム）

白線を検知して車線内での走行を維持できるようにステアリングを調整する機能

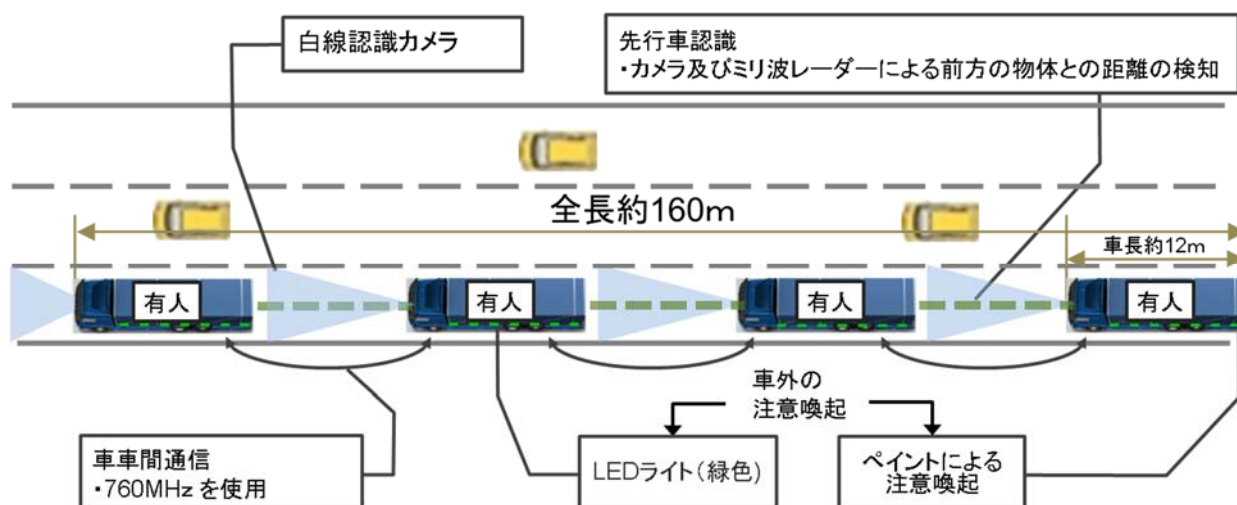
CACC システムは、従来の ACC で用いられている先行車との車間距離情報に加え、先行車の加減速制御情報を車車間通信（760MHz ITS 通信）で取得し加減速制御に用いることで、従来の ACC よりも応答遅れや車間距離の変動が少ない走行をすることが可能。

また LKA システムとの併用により、高速道路運転時に道路白線（黄線）をカメラで認識し、ステアリングを制御することで、車線に沿った走行がしやすいようにドライバーをサポートし、長距離走行におけるドライバーの疲労軽減が期待できる。

※ACC（定速走行・車間距離制御装置）

先行車と自車の車間距離を自車の機器のみで計測・算出して、自動で車間距離を一定に保つ機能

【システム概要】



【車両外観】



平成30年 **11/6^火～11/22^木**
上信越自動車道 藤岡JCT^{上下線}更埴JCT間

トラック隊列走行 実証実験

！ 高速道路利用者の皆様へ

- ・ 4台の大型トラックが短い車間距離で隊列を組んで走行します。
- ・ トラック隊列は藤岡JCTと更埴JCT間を往復します。
- ・ 分流、合流、車線変更の際はご注意ください。
- ・ 既存の法令を遵守し、全車両にドライバーが乗車し、安全に走行します。

実証内容

1. 多様な環境を有する区間を走行します
2. 実際に荷物を積んだ状態で走行します

全長 約160m 4台隊列

先行車認識：カメラ及びミリ波レーダーによる前方の物体との距離の検知

【走行車両の外観】



【使用するシステム】

CACC(Cooperative Adaptive Cruise Control)：協調型車間距離維持支援システム
通信で先行車の制御情報を受信し、加速・減速を自動で行い、車間距離を一定に保つ機能のこと

お問い合わせ先(事務局)

トラック隊列走行お問い合わせ窓口 TEL: 0120-130-833(お問い合わせ時間 8:00～16:00)

事務局：豊田通商株式会社 日本工営株式会社

実証事業委員会メンバー：いすゞ自動車株式会社*、日野自動車株式会社*、三菱ふそうトラック・バス株式会社*、UDトラックス株式会社*、佐川急便株式会社、西濃運輸株式会社、日本通運株式会社、福山通運株式会社、ヤマト運輸株式会社、公益社団法人全日本トラック協会、先進モビリティ株式会社 ※印は今回の実証実験の実施企業です。

隊列を見つけたら
アンケートに答えて
プレゼントをGET!



平成30年 **12/4^火～12/14^金**
新東名高速道路 浜松SA^{上下線} 遠州森町PA間

トラック隊列走行 実証実験

！ 高速道路利用者の皆様へ

- ・ 2～4台の大型トラックが短い車間距離で隊列を組んで走行します。
- ・ 隊列は短い車間距離で走行します。ご留意をお願い致します。
- ・ トラック隊列は浜松サービスエリアと遠州森町パーキングエリア間を往復します。
- ・ 分流、合流、車線変更の際はご注意ください。
- ・ 既存の法令を遵守し、全車両にドライバーが乗車し、安全に走行します。

実証内容

LKA (車線維持支援システム)
操舵を制御し、車線を維持します



2台隊列の場合 (全長 約50m)



4台隊列の場合 (全長 約160m)



【走行車両の外観】



【使用するシステム】

- CACC (Cooperative Adaptive Cruise Control):
協調型車間距離維持支援システム/
通信で先行車の制御情報を受信し、加速・減速を自動
で行い、車間距離を一定に保つ機能のこと
- LKA (Lane Keeping Assist): 車線維持支援システム/
操舵を制御し、車線を維持する機能のこと

先行車認識

カメラ及びミリ波レーダーによる
前方の物体との距離の検知

LKA (車線維持支援システム)
操舵を制御し、車線を維持

お問い合わせ先(事務局)

トラック隊列走行お問い合わせ窓口 TEL: 0120-130-833 (お問い合わせ時間 8:00～16:00)

事務局：豊田通商株式会社 日本工営株式会社

実証事業委員会メンバー：いすゞ自動車株式会社*、日野自動車株式会社*、三菱ふそうトラック・バス株式会社*、
UDトラックス株式会社*、佐川急便株式会社、西濃運輸株式会社、日本通運株式会社、福山通運株式会社、
ヤマト運輸株式会社、公益社団法人全日本トラック協会、先進モビリティ株式会社 ※印は今回の実証実験の実施企業です。

隊列を見つけたら
アンケートに答えて
プレゼントをGET!

